

< その他、取組に特徴のある事例 >

集落で進める機械の共同化と集落の結束を進める境川歴史マップの作成

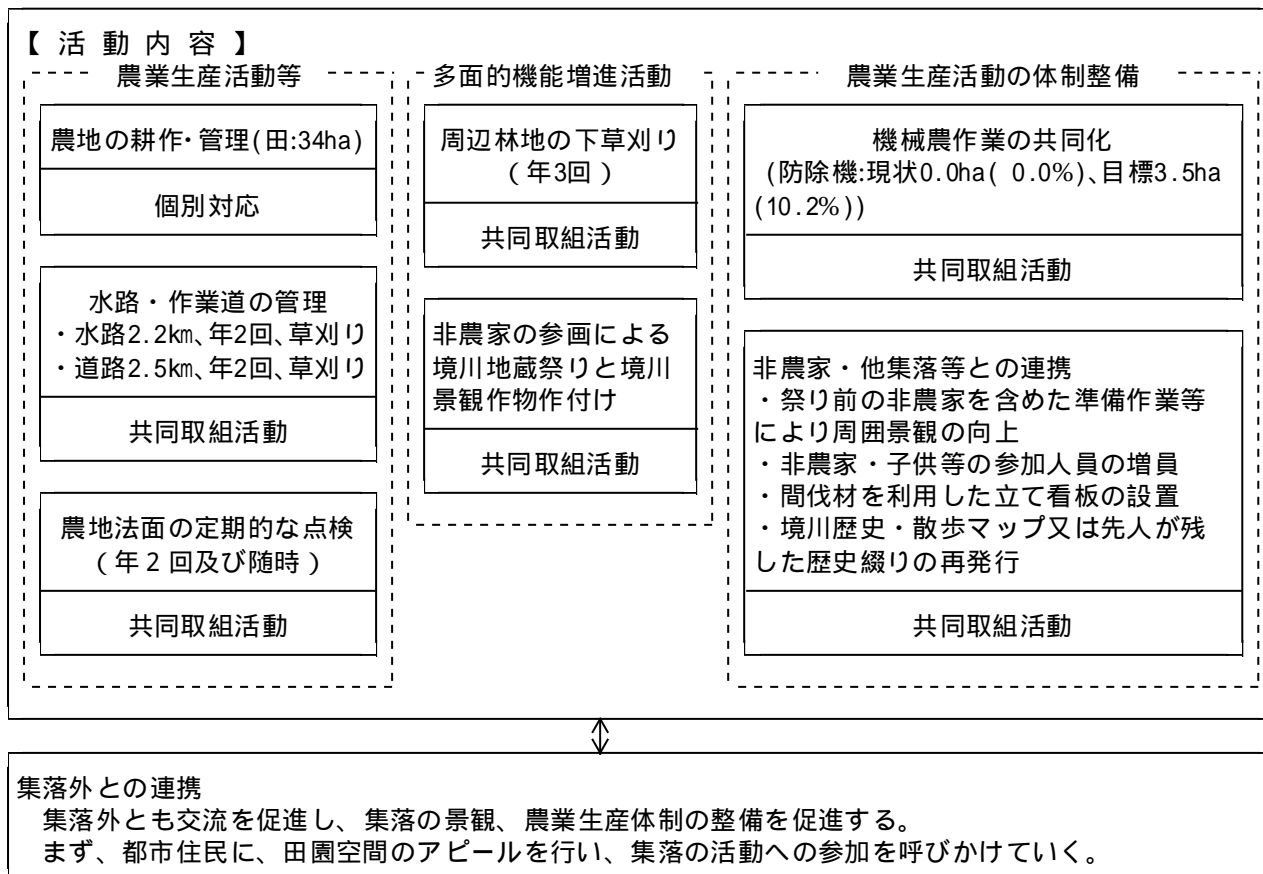
1. 集落協定の概要

市町村・協定名	やまぐちけんながとし さかいがわ 山口県長門市 境川				
協定面積 34ha	田(100%) 水稻	畑	草地	採草放牧地	
交付金額 万円	個人配分分			47.5%	
	共同取組活動分 (52.5%)			活動経費	13.0%
				事務費	9.1%
				将来像実現のための経費	13.8%
				施設の維持・管理等の共同取組みに要する経費	11.1%
	農用地の維持・管理を行う者への経費			5.5%	
協定参加者	農業者38人、非農業者4名				

2. 集落マスタープランの概要

兼業農家が主体の集落であり、今後高齢化になり担い手育成が困難なため、まず機械・農作業の基幹的農作業の共同化に取り組み、農地の保全を図る。また多面的機能の発揮に向けた非農家との連携に向けたふるさと・歴史・伝統行事の継承・新しいものへの掘り起こしに挑戦して、子供、老人が元気に遊ぶ境川、みんな生き生きと暮らす境川、好きな場所と遊び場のある境川、歴史と文化を活用する境川、都市との交流、特産品のある境川、最終処分場との融和・共同・共生を目指し、田園空間をアピールする。

5年間の工程表にフロー図を用いて詳細に記載し、協定参加者の合意形成を行った。



3. 取組みの経緯及び内容

前期対策より引き続き継続しての協定締結である。

特に境川集落はほ場がいくつもの谷に分かれており共同作業をすることが困難であるが引き続き協定を締結することによって将来の集落の活性化と共同作業の意識の醸成と礎を創ることを目的とし、第一期をベースにさらに前向きに進めていこうとしている。

集落マスタープランの集落の将来像、5年間の工程表、農地保全マップの作成について積極的な話し合いがされている。

農業生産活動の体制整備として、病虫害防除機の共同化と多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携に取り組む。

病虫害防除機械の共同化については現状は0であるが、5年後には集落の10%以上を実施する予定。

また、多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携では、集落行事に加え、集落の資源を再発見する「境川歴史・散歩マップ(仮称)」の作成を行う。



(農道マップ)



(水系マップ)

農用地保全マップ
オルソ画像を利用。
農道舗装予定箇所、
今後検討していく未舗
装箇所を記すなど具
体的な内容となっている。



作成中の歴史・文化マップ



共同取り組み活動

[平成21年度までの取組目標]

集落での病虫害防除機械の共同利用による営農の効率化・低コスト化
(当初0ha、目標3.5ha(協定農用地面積の10.5%))

多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携、歴史・文化マップを作成
(1割の協定参加者を確保)